

GibbsCAM13

このドキュメントは、GibbsCAM® 13のユーザー向けです。本書は以下の構成になっています。

- ・ 概要
- ・ インストール
 - “システム要件”(2ページ)
 - “ライセンス:NLO / 3D Systemsライセンスサーバー”(3ページ)
- ・ “既知の問題と最新情報”(4ページ)
- ・ “問題点の報告方法”(4ページ)

概要

2019年の2月25日の時点で、3D Systems社は、GibbsCAM 12の修正と改善を盛り込んだGibbsCAM 13をリリースしました。ソフトウェアとドキュメンテーションはGibbs Onlineで随時更新されます。

online.gibbscam.com

インストールの変更点:ライセンスとNLO

重要:ネットワークライセンスオプション(NLO)をご使用の場合、新しいライセンスサーバーが必要です。“ライセンス:NLO / 3D Systemsライセンスサーバー”(3ページ)を参照してください。

今回のリリースでは、GibbsCAMライセンスの方法がいままでと異なりますが、NLOを使用されていないお客様にはほとんど影響がありません。レジストレーションツールを実行して、新しく再生成されたライセンスファイルを使用してください。ライセンスファイルは、*.licのテキストファイルではなく、*.cmlのバイナリファイルに変更になりました。

インストール

システム要件

最小推奨システムの仕様は、GibbsCAM 12から変更されました。以下は要約です。詳細は、[Installation](#)ガイドを参照してください。

オペレーティングシステム Windows 7 (SP 1以降), Windows 8, Windows 10, Windows Server (2008 R2・2012・2012 R2・2016・2019) 64-bit OSが必要です。利用できる最新OSサービスパックとパッチを、Windows Updateでインストールしてください。

Microsoft .NET framework 4.6.2以降が必要です。ほとんどのコンピュータにはインストールされています。

ハードウェア GibbsCAMは、次の環境以上のコンピュータで快適に動作します。ただし、ワークが大きく複雑であるほど、GibbsCAMには高度なシステム環境が必要になります。

CPU Intel: Quad core: Core i9, i7 or i5
AMD: RyzenまたはThreadripper

RAM 16 GB RAM

ビデオカード NVIDIAビデオカード、ビデオメモリ2GB以上

ディスク ディスク空き容量8GB以上

仕様の低いシステムでもGibbsCAMを実行できますが、大きなワークや複雑なツールパスではパフォーマンスが低下します。

ビデオドライバ GibbsCAM 12と同様

新規にインストールしたGibbsCAMを初めて起動するときは、再登録を求めるメッセージが表示されません。レジストレーションツール実行をクリックし、プロダクトコードとお客様情報を入力してください。レジストレーションプロセスでは次へを何度かクリックし、最後に完了をクリックすると、保存されているデフォルト値をすべて適用して、3D Systemsに情報を送信できます。

再登録で問題が生じた場合は、GibbsCAMテクニカルサポート(800) 654-9399(北米)、または+1.805.523.0004にお問い合わせください。

ライセンス:NLO / 3D Systemsライセンスサーバー

NLO(ネットワークライセンスオプション)をご使用のお客様は、次の3手順でのセットアップが1回だけ必要です。

1. 3D Systemsライセンスサーバーをインストールするための実行ファイルをダウンロードします。

実行ファイルは、[Gibbs Online](#): Software Downloads > Tools > 3D Systems License NLO Server > 3D Systems License NLO Server v8.x.y.zからダウンロードできます。
[LicenseServer_setup_8.x.y.z.exe](#)

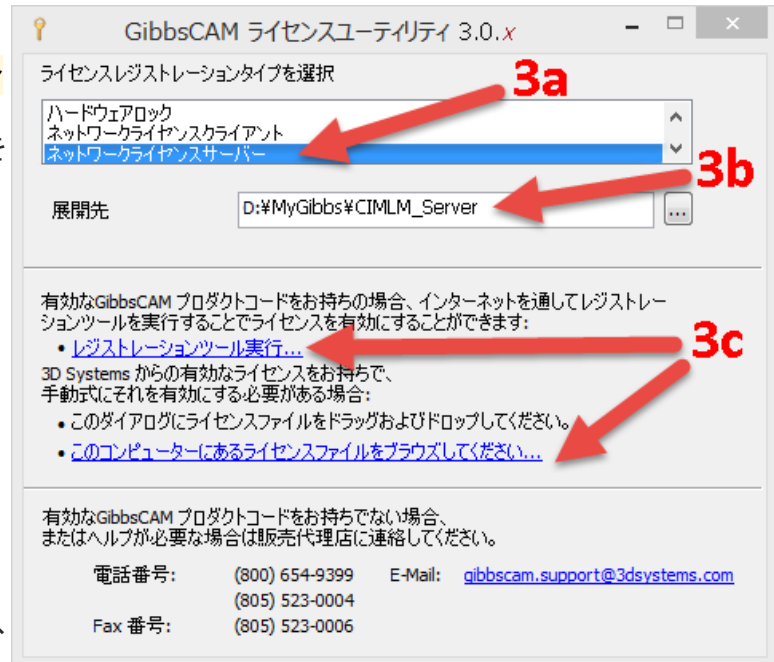
2. 実行ファイルを実行して、ライセンスサーバーソフトウェアをインストールします。

手順は次の通りです。(a) UAC: Yesを選択;(b) Welcome: Nextをクリック;(c) Destination Location: フォルダを選択してNextをクリック;(d) Installをクリックします。

3. ライセンスサーバーを登録します。

ライセンスサーバーをインストールしたフォルダからRegistrationTool.exeを実行します。次に、ライセンスユーティリティウィンドウで:

- a. ライセンスレジストレーションタイプを選択で、ネットワークライセンスサーバー(3つ目)を選択します。
- b. 展開先には、書き込み可能なフォルダを入力または検索します。
- c. コンピュータで既存の*.clmライセンスファイルを探します。
*.clmファイルをまだお持ちでない場合は、レジストレーションツール実行リンクをクリックし、サーバーライセンスレジストレーションツールウィンドウに20桁のプロダクトライセンスコードを入力(またはコピー&ペースト)します。



4. 必要に応じて、確認やトラブルシューティングのための情報として[Installation](#)ガイドを参照してください。

NLOライセンスサーバーがインストールされ登録されたら、実行してください。次に、GibbsCAMワークステーションを設定し、そこからライセンスを受領します。

既知の問題と最新情報



[GibbsCAM 13 What's New](#)では、GibbsCAM 12以降の主な機能強化と変更内容をまとめました。

知られている問題点

- ・ 49581:新しい5-Axisの項目のコンテキスト依存ヘルプが誤って割り当てされている。
- ・ 50338:ポスト出力で2番目以降の回転ブローチ加工オペレーションのスピンドルコマンドを出力しない。
- ・ 50359:端点のない図形で複数輪郭を加工する特定のMill輪郭加工オペレーションで加工マーカが間違った位置に配置される。
- ・ 付加/ハイブリッドは、今回のリリースでは意図的にバンドルしませんでした。

GibbsCAM 12からの意図的な変更

以下にまとめたのは意図的な変更であり、バグではありません:

- ・ Latheと呼ばれていた製品オプションは、Turningに変更されました。
- ・ Adveon工具マネージャーは、CoroPlus Toolsに置き換わりました。現在のリリースでは、CoroPlusダイアログとインターフェースで使用できないものがあります。
- ・ CATIA (Dassault Systèmes)からのファイルのインポート NX (Siemens PLM / Unigraphics UGS/NX) とVDA-FSは、Spatial (Dassault Systèmesのユニット、3D ACISカーネルの開発者)にデフォルト設定されました。Datakitオプションはもはやサポートされません。
- ・ オペレーションタイトルのスタックは、 プロセスモードがデフォルト設定です。同じフローの連続したオペレーションは、同じプロセスから作成されていれば、積み重ねられます。以前のリリースと同じデフォルト(積み重ねしない)をご希望の場合は、 個別モードを選択してください。

問題点の報告方法

GibbsCAMにおいて予期しない動作に遭遇した場合は、現在のワークを保存したうえでGibbsCAMを終了し、再起動後にもう一度、試みてください。同じ現象が継続して見られる場合には、下記までお知らせください。

テクニカルサポート: GibbsCAM.Support@3DSYSTEMS.COM

- ・ 電話: (800) 654-9399 +1.805.523.0004 ・ ファックス: +1.805.523.0006